ひなどり

【教育目標】
なかよく　せいいっぱい
遊ぶ子ども

第４号　　令和６年７月８日
新潟市立新津第三幼稚園だより

生活に絵本を

園長　大矢　晃子

園では、絵本に親しみをもてる子どもになってほしいと願い、絵本の貸し出しを行っています。週一回、降園前に親子で好きな絵本を借りて帰ります。絵本の部屋には、たくさんの絵本が並んでいます。親子で「どの本にする？」「これ、読んだことあるよね。」「これ、面白そう！」など、子どもたちはお家の人と一緒に絵本を嬉しそうに選んでいる様子が見られます。

絵本を選ぶポイントはいくつかあります。年齢に合った絵本、季節に合わせた絵本、子どもの興味のある絵本、などです。絵本の読み聞かせの効果や大切さについては、ご存じかと思いますが、園でも絵本は、子どもたちの生活や遊びになくてはならないものです。

保育室には、各学年によって子どもの興味・関心がある絵本、季節にかかわる絵本、物語絵本、などが置いてあります。それらの本を見ると、担任の先生が今、このクラスの子どもたちの生活や遊びにふさわしい絵本を選んでいることがわかります。

ある日、園庭から楽しそうな声が聞こえてきました。

年中組さんが、紙に色をつけて、染紙を作っていました。たたんで小さくした紙を、自分の好きな色につけて染めます。その紙をそっと広げると「うわぁ～きれい！」偶然できた模様と鮮やかな色に思わず声が出ます。「見て！見て！」と友達と見せ合う様子もありました。その紙を洗濯バサミで紐にとめて乾かします。「あのね、せんたくかあちゃんなの！」「そうそう、せんたくかあちゃんみたい！」この日は風が強くて、干すのも一苦労していましたが、子どもたちは何だか嬉しそうです。この絵本は、少し前に担任の先生が読み聞かせをしたそうで、子どもたちが好きな絵本のひとつとのことです。このように、園で一緒に読み聞かせてもらった、絵本の世界と自分たちの遊びをつなぐことによって、その遊びの面白さが増したのではないでしょうか。

子どもだけでなく、大人も心動かされる絵本もたくさんあります。このように生活を豊かにしてくれる絵本の魅力を、伝えていきたいと思います。

しゃぼんだま

暑い夏がやってきました！

水が気持ちのいい季節になりました。子どもたちの遊びでも、水に触れることが増えました。

プールごっこ

新聞紙をビリビリにして、お部屋でもプール気分で思い切り遊びました。

あわ遊び

石けんでどうやったら泡になるか、やってみました！

春に植えたジャガイモの収穫をしました。土の中で、大きくなったジャガイモを手で掘ると、たくさん出てきました。カレーパーティの材料にします。楽しみだね。

地域の野菜作りの名人、渡辺さんに教えてもらって、元気な土づくりをしました。

家庭から持ってきていただいた野菜くずを使います。野菜を小さくして、ボカシを混ぜて土に混ぜました。秋野菜作りの準備です。

６月２８日　県立幼稚園のお友達がバスで来てくれました。

新潟県立幼稚園の年長組さんと年中組のお友達が、園に遊びに来てくれました。すぐに仲良くなった子どもたちは、やっている遊びを教えてあげたり、遊戯室でボール遊びをして、ひとときを過ごしました。楽しかったね。

お知らせ！

子どもたちの遊びを、動画でご覧ください。（保護者対象）

子どもたちの園の様子が知りたい！という声から、園が撮影した動画をご紹介します。

＜第１弾＞７月１０日～１２日
　時間　登園後３０分間程度
　場所　遊戯室
・年中、年長組　アイスアリーナ
・全園児　七夕の会
・全園児　プール水遊び　など